



## 「JSRグループ CSR レポート 2018」

### 第三者検証 意見書

2018年7月18日

JSR 株式会社  
代表取締役社長 小柴 満信 殿

一般社団法人 日本化学工業協会  
レスポンシブル・ケア検証センター長

永松 茂樹



#### ■ 報告書検証の目的

レスポンシブル・ケア報告書検証は、JSR株式会社が作成した「JSRグループ CSR レポート 2018(Web版) (以後、報告書と略す)」に記載されている、下記の事項について、独立した第三者の立場から化学業界の専門家であるレスポンシブル・ケア検証センターが意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
- 3) レスポンシブル・ケア活動及びCSR活動 について
- 4) 報告書の特徴について

#### ■ 検証の手順

- ・ 本社において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに彼らより資料の提示・説明を受けることにより行いました。
- ・ 四日市工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び数値以外の記載情報の正確性の調査を行いました。四日市工場での調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、資料の提示・説明を受けること、並びに証拠物件と照合することにより行いました。
- ・ 数値及び記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

#### ■ 意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
  - ・ 数値の算出・集計方法は、本社及び四日市工場において合理的な方法を採用しています。
  - ・ 調査した範囲において、数値は正確に算出・集計されています。
  - ・ なお調査範囲には、温室効果ガス排出量のScope 1～3のデータが含まれ、提示を受けた資料に基づき、正確に集計されていることを確認しています。
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
  - ・ 報告書に記載された情報は正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性或いは文章の解かり易さに関し若干問題がありましたが、現報告書では修正されており、現在修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) レスポンシブル・ケア活動及びCSR活動の内容について
  - ・ 労働災害、設備災害及び社外の情報は、速報・詳報を社内及びグループ企業の担当部署に配信しイントラネットを活用して全社員に迅速に伝え、情報共有と水平展開を図り、類似災害の未然防止に役立っていること、更に最近の労働災害事例から、年齢層の特徴に合わせた安全教育が必要と考え、取り組みを始めていることを評価します。
  - ・ 工場内の高圧ガス設備を重点対象とした耐震工事、全事業所に緊急地震速報システムの設置、更に東日本大震災を受けて、耐震強度の強化や津波対策も視野に入れた安全対策を2020年度迄に終える計画で進めていること、また2017年度は首都直下型地震を想定した危機管理訓練、グループ企業向けBCP訓練を行ったことを評価します。
  - ・ 従業員が毎年実施する「CSRレポートを読む会」の報告書から、CSRレポートやCSR部への要望事項を確認し、紙面の作成やCSR活動に反映させていることを評価します。
  - ・ 四日市工場では2008年度から2017年度まで環境苦情ゼロを継続していることを評価します。
- 4) 報告書の特徴について
  - ・ ステークホルダーがESGデータを一括して見られるように「JSRグループ ESGデータ」を作成しています。

以上